

令和3年度 E B P Mの実践における厚生労働省 E B P M推進チーム事務局コメント

部局・課室名	〇〇局 課
事業名	〇〇推進事業

総論	
<p>・ ロジックモデルについては、現状分析からインパクトまでの各要素項目が一定の水準で記載されており、論理的整合性がとれている。（例）</p> <p>・ データの取得については、上記とともに、処置群・対照群の時系列データを作成するため、全ての自治体に対して事業開始年度から毎年度のデータ取得を要請することが望ましい</p> <p>・ 効果検証については、対照群を設定したうえで、各アクティビティが の向上に資するものであるかを分析すると、より高いレベルの効果検証が可能となる</p>	
各論	
<p>1 .現状分析・課題・事業概要の記載</p> <p>ロジックモデル 1 枚目の「現状分析」「課題」「事業概要」と対応</p>	<p>ロジックモデルの1 枚目「現状分析」「課題」「事業概要」欄に、以下の趣旨を踏まえて記載する必要がある。</p> <p>ロジックモデルの点検上、事務局が点検時に指摘したが未修正である箇所及びヒアリング時の指摘により修正が必要な箇所</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 部局が修正すべき内容を記載 <p>注：事務局が点検時に指摘したロジックモデル点検シートで NG 又は保留条件付きで OK となっている項目を優先的にヒアリングする。</p> <p>ロジックモデルの公開に向けたより良い改善案</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 部局が修正すべき事務局からの提案内容を記載（実現可能性が高いものを提案） <p>上記のいずれも、各部局に対してロジックモデルの修正を求める。</p>
<p>2 .ロジックモデルの記載</p> <p>ロジックモデル 1 枚目のロジックモデル本体（インプット・アクティビティ・アウトプット・短期アウトカム・長期アウトカム・インパクト）及び2 枚目のロジックの確認と対応</p>	<p>ロジックモデルの1 枚目のロジックモデル本体（インプット・アクティビティ・アウトプット・短期アウトカム・長期アウトカム・インパクト）の各欄に、以下の趣旨を踏まえて記載する必要がある。</p> <p>ロジックモデルの点検上、事務局が点検時に指摘したが未修正である箇所（論理展開の妥当性の確認を含む。）及びヒアリング時の指摘により修正が必要な箇所</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 部局が修正すべき内容を記載 <p>注：事務局が点検時に指摘したロジックモデル点検シートで NG 又は保留条件付きで OK となっている項目を優先的にヒアリング</p> <p>ロジックモデルの公開に向けたより良い改善案</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 部局が修正すべき事務局からの提案内容を記載（実現可能性が高いものを提案） <p>上記のいずれも、各部局に対してロジックモデルの修正を求める。</p>

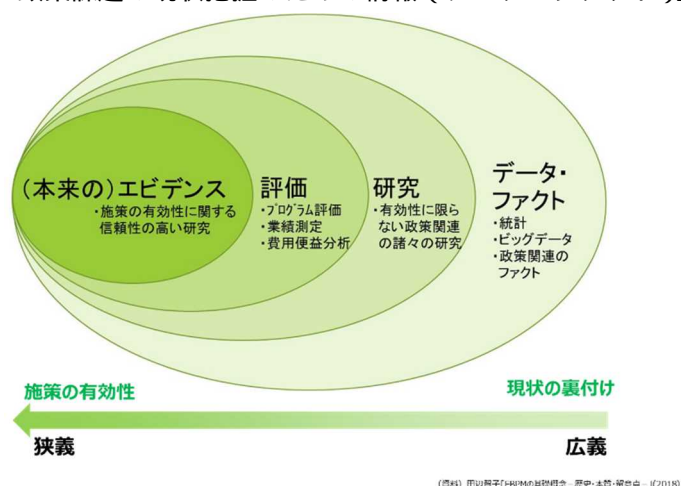
<div>3. アクティビティの妥当性</div> <div>ロジックモデル 2 枚目ロジックの 確認 と対応</div>	<div>ロジックモデルの 2 枚目「ロジックの確認 」欄に、以下の趣旨を踏まえて記載する必要がある。</div> <div>ロジックモデルの点検上、事務局が点検時に指摘したが未修正である箇所及びヒアリング時の指摘により修正が必要な箇所</div> <div>● 部局が修正すべき内容を記載</div> <div>注：事務局が点検時に指摘したロジックモデル点検シートで NG 又は保留条件付きで OK となっている項目を優先的にヒアリング</div> <div>ロジックモデルの公開に向けたより良い改善案</div> <div>● 部局が修正すべき事務局からの提案内容を記載（実現可能性が高いものを提案）</div> <div>上記のいずれも、各部局に対してロジックモデルの修正を求める。</div>								
<div>4 . アクティビティ、アウトプット、アウトカムのデータ取得方法</div> <div>ロジックモデル 3 枚目【各指標の目標水準及び目標達成時期の設定理由】の「設定した指標を算出する調査名等」と対応</div>	<div>ロジックモデルの 3 枚目【各指標の目標水準及び目標達成時期の設定理由】の「設定した指標を算出する調査名等」欄に、以下の趣旨を踏まえて記載する必要があるほか、事業の詳細を設計するに当たり、効果検証を見据えてデータの取得方法を検討すべきである。</div> <div>ロジックモデルの点検上、事務局が点検時に指摘したが未修正である箇所及びヒアリング時の指摘により修正が必要な箇所</div> <div>ロジックモデルの公開及び効果検証の実施を見据えたより良い改善案</div> <div>例）「補助金の交付申請書類において本事業のアウトカムである の記入を求め、データ化を進めるべき。」など</div>								
<div>5 . 効果検証方法</div> <div>ロジックモデル 2 枚目「効果検証方法」と対応</div>	<div>ロジックモデルの 2 枚目「効果検証方法」欄に、以下の趣旨を踏まえて記載する必要がある。また、事業の詳細を設計するに当たり、以下に記載の効果検証を実行できる事業設計を検討すべきである。</div> <div>ロジックモデルの点検上、事務局が点検時に指摘したが未修正である箇所）及びヒアリング時の指摘により修正が必要な箇所</div> <div>● 部局が修正すべき内容を記載</div> <div>ロジックモデルの「効果検証方法」欄の修正例</div> <div>ロジックモデルの修正例を記載する。</div> <div>1 効果検証に当たっての項目整理</div> <table><tr><td>P：事業の対象</td><td>I：事業内容</td><td>C：比較対象</td><td>O：アウトカム</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> <div>2 効果検証の分析手法等</div> <div>例）差の差分析（レベル 2a）（本事業の実施により がどの程度増加したのかを検証する。）</div>	P：事業の対象	I：事業内容	C：比較対象	O：アウトカム				
P：事業の対象	I：事業内容	C：比較対象	O：アウトカム						

	<p>ロジックモデルの公開及び令和５年度以降の効果検証に向けたより良い改善案</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 部局が修正すべき事務局からの提案内容を記載（実現可能性が高いものを提案） ・ 注：検証仮説と、仮説の検証に必要なデータについて提案する。。「４．アクティビティ、アウトプット、アウトカムのデータの取得方法」で記載していないデータについては取得方法も提案する。 ・ 注：原則として、令和４年度の事業の設計で留意すべきポイントと令和５年度の効果検証を提案する。ただし、事業の性質等によりやむを得ない場合には、その理由を記載した上で、令和５年度以降の事業の設計で留意すべきポイントと効果検証を提案 <ul style="list-style-type: none"> ● 検証仮説（リサーチクエスチョン） <ul style="list-style-type: none"> ➢ （アクティビティ）は （アウトカム）を高めるのか。 ● 適用可能な分析手法と事業の設計で留意すべきポイント <ul style="list-style-type: none"> ➢ 差の差分析(レベル 2a)（例） <ul style="list-style-type: none"> ◇ 事業の設計で留意すべきポイント ● 被説明変数（アウトカム） <ul style="list-style-type: none"> ➢ 概念（例：時間外労働時間） ➢ データ（時点、処置/対照、単位） ● 説明変数（アクティビティ・アウトプット、事業対象者の属性など） <ul style="list-style-type: none"> ➢ 概念（例：就労支援の実施） ➢ データ（時点、処置/対照、単位） ● 分析を可能にするために必要な事業設計上の要件 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 例）支給対象者の決定方法を抽選にする。公募事業者の選定を得点にする。 <p>上記のいずれも、各部局に対してロジックモデルの修正と事業の詳細設計の際に検討を求める。</p>
<p>その他</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・ その他事項について記載 	

< 参考 >

エビデンスとは、「政策の因果効果（＝政策によって生み出された真の効果）を表すもの」。

広義のエビデンスとは、「政策課題の現状把握のための情報（データ・ファクト）」を含むもの。



平成 30 年度 内閣府が示したエビデンスレベルは以下のとおりである。

エビデンスの質のレベルに係る目安

	レベル	分析手法
高 ↑ 低	レベル1	ランダム化比較実験
	レベル2a	差の差分析、傾向スコアマッチング、操作変数法等
	レベル2b	重回帰分析、コホート分析
	レベル3	比較検証、記述的な研究調査
	レベル4	専門家等の意見の参照

(資料) 内閣府「平成30年度内閣府本府EBPM取組方針」(2018)

以上